

じゆくご 熟語ランド



第55回

田代しんたろう

かわいい子には 旅をさせよ

言葉の意味

子どもが可愛いなら、親に守られている家を離れさせ、知らない土地で多くの経験をさせるべきだという教えです。



たとえ苦労をしても、世の中の厳しさを経験して、我が子に自立して立派に成長して欲しいという親の願いが込められていますね。



こんなふうに使っつよ

ヒントを出して助けてやりたいところだが、かわいい子には旅をさせよ



師匠のかわいい子には旅をさせよの思いにこたえるよう修行に励もつ

習二君のかわいい子には旅をさせよ



今日は新幹線に乗っていとこに会いに行くぞ



お兄ちゃん一人で大丈夫？

なんとかなるさ



大丈夫かな？

心配だね

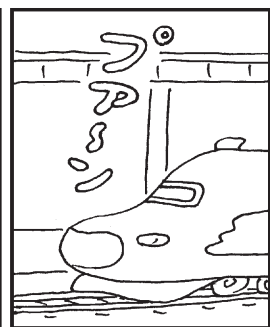


そつやって習二も成長するんだよ



オッ！行ってきます

やっぱり心配だな



列車にも乗れたし問題なし



それ

降りる駅わかってる？

わ！乗ってました！



しゅうじ君の **ことわざ**。

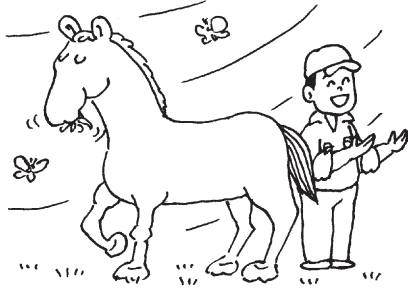


馬耳東風

(ばしとうふう)

言葉の意味

「馬耳」は馬の耳、「東風」は春風の意味です。春風が吹いて暖かくなると人は喜ぶけれど、馬は春風を耳で受けても何も感動しません。



良い意見を言われたとき、しっかりと受け止めず聞き流すような態度を注意した言葉です。他の人からの忠告はありがたく受け取りたいですね。



こんなふうに使うよ

アドバイスしても無駄だよ
どうせ馬耳東風なんだから

馬耳東風と言われないようにしっかりと話を聞こう



あつちが最後がかすれたでしょ



平気平気



習二君ももっとたっふり墨をふくませたほうがいいんじゃない

習二君の馬耳東風



馬の耳は春の心地良い風を感じないんだって

そういうことか



どういう意味?



習二君馬耳東風の馬の耳じゃ困るぞ



春の風は感じなくても花粉は感じるようだね



馬の耳にならないように反省反省